

歴代の生徒会長に  
インタビュー

生徒会長を経験して得たことや城北の魅力について、お話をうかがいました。

藤井 徹太さん 2024年卒

相手の立場を考えたコミュニケーションが大学生になった今も役立っています



高1のときに柔道部と兼部する形で生徒会に入りました。生徒会長になったのは高2。より学校生活を快適にするために「ご意見箱」を設置して、生徒からの声を集め、そこで見つかった課題などについて、先生方と話し合いの機会を設けました。話し合いは簡単ではなく、一方的に生徒側の意見を押し付けるだけではうまくいきません。大切なのは相手の立場も考えたうえで、コミュニケーションをとること。

その大切さを学べたことが、大学生になった今にも生きていますし、きっと社会に出てからも役立つのではないかと感じています。集めた意見を全て解決できたわけではなくても、何度も話し合いを重ね、生徒の意見を学校に伝えたことは、意義のあることだったと思います。勉強、部活動、生徒会と城北の毎日はハードでしたが、仲間や先生方の支えがあったから、毎日がとても楽しかったです。

石川 文智さん 高校2年生

生徒会メンバーと一生懸命取り組んだことが形になり、大きな自信につながりました



昨年、高1のときに生徒会長を務め、いまは現・生徒会長をサポートする立場で引き続き生徒会に所属しています。先輩たちが取り組んでいた城北オリジナルポロシャツの復活のため、私たちの代が特に注力したのはポロシャツに入れる城北のロゴマークデザイン。今春ようやく完成したときは、とてもうれしかったですね。自分たちが一生懸命取り組んできたことが形になって、自信にもつながりました。

した。私たちの代は人数が少なく、仕事の役割分担に苦労しました。みんなで知恵を集めて資料を作っても、アイデアが足りずに先生から指摘を受けることが多く、落ち込んだこともあります。でも、人数が少ないことを言い訳にしても始まらない。とにかくできる人ができることからどんどん動いていこうと、気持ちを切り替えて前を向く大切さを学んだと思います。

## SCHOOL INFORMATION

学校説明会

7月5日(土) 9月13日(土)

学校見学ツアー

7月19日(土) 7月27日(日)  
7月28日(月)

城北祭(文化祭)

9月27日(土)・28日(日)

※すべて要予約。詳細は事前に学校HPにてご確認ください。

所在地:東京都板橋区東新町2-28-1  
アクセス:東武東上線「上板橋駅」徒歩10分、地下鉄有楽町線・副都心線「小竹向原駅」徒歩20分  
TEL:03-3956-3157  
URL:https://www.johoku.ac.jp/

今泉 大和さん 2023年卒

リーダーとしてさまざまな立場の人の声に耳を傾ける大切さを学びました



高1のとき、新型コロナウイルス感染症の流行で文化祭などが中止に。制限の多い学校生活の中でなにかできることはないか、と高2で生徒会長に立候補しました。掲げた公約のうちの1つが、文化祭での音楽フェスの実施。実現はできたもののコロナ禍で文化祭自体がオンライン開催になってしまい、いまいち盛り上がりきれなかったことが心残りでした。でも、その翌年後輩たちが意志を継いでくれて、盛り上がっている様子を見

れたことは、忘れられない思い出です。コロナ禍で思い通りにいかないことの連続でしたが、それでも希望を捨てず、最後まで頑張ることができました。

当時の生徒会は後輩が多かったので、自分の意見を押し通すばかりでなく、みんなの意見に耳を傾けることを大事にしました。実際、そこから問題が解決することも多くあり、年齢を問わずさまざまな立場の人の意見を聞くことの大切さを学んだと思います。

鈴木 拓哉さん 2025年卒

生徒会長として大変だった毎日乗り越えられたのは、先生方のサポートがあったから



初めて生徒会長に立候補したのは中2のとき。ただただ目立ちたいという一心で、あまり深く考えずに立候補したので、当然落選してしまいましたが、生徒会の一員として活動を始めました。そこでさまざまな経験をして、自分の考えも深まり、自分の成長を実感。高2のときに改めて立候補をして、生徒会長になることができました。

城北オリジナルポロシャツを復活させようと、最初に生徒会

で取り組みを始めたのは私たちの代のとき。0からのスタートで1年では完成せず、後輩たちに引き継いだのですが、みんなの頑張りのおかげでようやく完成し、今年度から着用が始まりましたと聞いて、うれしい気持ちでいっぱいです。大変なことも多かったけれど、城北は先生と生徒の距離が近く、困ったときはいつも先生が親身になって相談に乗ってくれたことをいまでもよく覚えています。

白水 奏太さん 中学3年生 現・生徒会長

自分の意見をしっかり持ち、後輩をけん引できるように努力しています



中1のときに、剣道部と掛け持ちで生徒会に入りました。剣道部の活動は学年が上がるにつれて、試合などで忙しくなることがわかっていたので、できれば早い段階で生徒会長を経験してみたいと考えて、中3になるときに立候補しました。

私は特別に得意なことがあるタイプではなく、生徒会長になる前はサポート役に回ろうと考えてることが多くありました。当事者意識を持つことができず、

肝心なときに意見を言えなくて、みんなを混乱させてしまったことも。生徒会長になってからは、苦手なことであっても自分の意見をしっかり持つように心がけています。少数メンバーだった昨年と違って、今年は後輩が多く加入してくれたので、みんなを引っばっていけるように、努力していきたいです。城北は生徒会や好きな部活動に入って、自由に自分の好きなことに取り組める学校だと思います。

じょうほく

## 城北中学校・高等学校 (男子校)

生徒会活動を通して主体性を身につけ  
自立した社会のリーダーへと成長する

「着実・勤勉・自主」の校訓のもと、毎年、東京大学をはじめとする難関国公立・私立大学に多数の合格者を輩出している城北中学校・高等学校。よりよい学校生活を送るため、主体的に活動してきた歴代の生徒会長のみなさんにお話を聞きました。

教育目標として「人間形成と大学進学」を掲げている城北中学校・高等学校(以下、城北)。教育の柱の1つとなっているのが、クラブ・委員会活動です。人間形成の核となる「人間力」に求められる、他者との共存意識、思いやりと優しさ、価値観の多様化を受け入れられる広い心は、体験を通してこそ育まれるもの。広大で充実した環境のキャンパスでは、47の運動部・文化部の他、文化祭実行委員会など5つの委員会が活発に活動しており、放課後には校内に明るく生き生きとした声が響きます。

委員会活動の中でも、約2000人の全校生徒の意見をくみ上げ、すべての生徒がより快適な学校生活を送ることができるよう、週に1度集まって様々な活動を行っているのが生徒会本部です。ほとんどの生徒会メンバーが、他のクラブ・委員会活動と兼部していて、現・生徒会長である白水奏太さん(中3)も、剣道部と掛け持ちしているのだそう。生徒会には「学校生活を少しでも充実

させたい」と考えている生徒たちが集まっており、生徒からの提案や生徒会長が掲げた公約などを、みんなの意向が一致するまで話し合うのが城北の生徒会のスタイル。まとめた意見や要望を資料に整理して、校長先生に提出し、時にはプレゼンテーションを行うこともあります。校長先生からの鋭い指摘に、何度も資料を作り直したり、説得材料を集めたりして、よりよい学校生活の実現のため、粘り強く交渉することが、歴代生徒会の役目になっています。

学年の垣根を越えて、中学生も高校生も自由に意見を言い合える、主体的な活動も城北生徒会が代々、大切にしてきたこと。これらの活動を通して、生徒会のメンバーは未来を切り拓く力を養い、社会や世界をリードする人材へと成長していきます。

城北では、生徒が潜在的に持っている好奇心と積極性を生かし、クラブ活動などの主体的な取り組みによって自立、成長することで、希望の大学進学を実現するための指導が日々行われています。



放課後の生徒会室でのひとコマ。みんなで話し合いながら、学年の垣根を越えて活動を進めています。



復活した城北オリジナルのポロシャツ。胸の部分には城北のロゴマークがあらわれています。

